

ID No.	325
研究課題名	HIV 感染細胞における HIV 抗原の抗原提示動態に関する研究
研究代表者	桑原 一彦 （愛知県がんセンター研究所・室長）
研究組織 受入教員 研究分担者	立川 愛 （東京大学医科学研究所・准教授）
研究報告書	
HIV 由来 CTL エピトープを提示する HLA-A24 分子に特異的な抗体 8D12 を樹立した。特異性と結合能について解析を行ったところ、phage display 法により樹立された抗体と比べ約 100 倍高い結合能を有していた。Nef 発現細胞とは弱いながら特異的な結合が見られた。 本エピトープにおいて、HLA-A24陽性HIV感染者体内で変異エピトープが選択されることが明らかとなっているため、HIV感染者から樹立された特異的なCTLクローンと8D12について、変異エピトープに対する交差反応性を調べた。TCR遺伝子の種類、CDR3領域のアミノ酸配列が異なる複数のCTLクローンにおける変異エピトープとの交差反応性を解析したところ、クローン間で大きく異なっていた。8D12による交差反応性は、そのうちの一つのCTLクローンと反応パターンが類似していた。TCRと抗体における抗原認識において、エピトープとHLA-A24複合体の同様の構造を認識している可能性が示唆された。	